

解答 帰り道① 六年 組 名前

内容が合っていれば、違う表現でも正解です。太文字のところが心情です。

○それぞれの場面で、律と周也はどんなことを考えていたでしょうか。

天気雨の後	天気雨の間	天気雨の前の帰り道	放課後の玄関口	昼休み	場面	
					律	周也
<p>言いたいことが言えた。周也にもわかっ てもらえた気がした。気持ちが晴れ、すっきり とした。</p>	<p>天気雨がふり、お互いに笑い合ったこと で、悩んでいた心のもやもやが洗い流され た。</p>	<p>(前半)ぼくだけが昼休みのことを引きずつ ているみたいで、周也がどんどんにくらしく 見えた。 (後半)思っていること言えない自分がいや になってきた。周也との差がどんどん離れて いくことをあきらめてしまっている。</p>	<p>今日は一緒に帰りたくないのに、周也は帰 る気なので戸惑っている。周也と二人き りの帰り道が、はてしなく遠く感じた。</p>	<p>みんなの答えるテンポについていけず、 どちらが好きかはっきり決められなかった から、周也にいらついた目でにらまれた。 「どっちも好きってのは、どっちも好きじゃ ないのと、いっしょじゃないの」とつつこま れ、心が傷ついた。</p>	<p>はっきりしない律にじりじりして、言わ なくてもいいことを言ってしまった。軽く つつこんだつもりが、重くひびかせてしまっ たところかいしている。</p>	<p>考えていたこと、心情</p>
<p>律の思いに心では賛成しながらも、とっさ に言葉にできなかったが、初めて律の言葉を 受け止めることができ、うれしく感じた。</p>	<p>何もかもがむしようにおかしかった。そし て、律と一緒に笑ってくれるのがうれしかっ た。</p>	<p>律の気持ちを考え、話そうとすると言葉が 出ない。だれかといるときにちんもくが苦手 だ。 いつだってマイペースで落ち着きのある律 がうらやましいく思っている。</p>	<p>傷つけてしまった律のことが気になっ て、野球を休んで玄関口で待ち伏せをし た。一緒に帰って元気になってくれたらと思 っている。</p>	<p>律の気持ち</p>	<p>周也</p>	

帰り道 ②

六年 組 名前

○ 次の言葉を参考にしながら、二人の人物像を考えましょう。

たくましい	おおらか	おっとり	しんちょう	まっすぐ
落ち着き	おくびよう	おだやか	たのもしい	明るい
活発	おつちよこちよい	あわてんぼう	おしゃべり	正直
マイペース	ひかえめ	気弱	消極的	積極的
				冷静

① 「律」の人物像を考えましょう。

・「律」から見た「律」

（自分の言いたいことが言えない気弱でおくびような性格だ。）

・「周也」から見た「律」

（マイペースで落ち着きもあり、冷静な性格だ。）

・あなたから見た「律」

（例 ひとつひとつのことをゆっくり考える、マイペースで落ち着いた子だ。）

・一文で「律」の人物像をまとめましょう。

（例 思ったことを友達に伝えきることができないしんちょうでひかえめな人物。）

② 「周也」の人物像を考えましょう。

・「周也」から見た「周也」

（おしゃべりでだれかといるときのちんもくが苦手だ。）

・「律」から見た「周也」

（明るく活発でたくましい性格だ。）

・あなたから見た「周也」

（例 周りの友達のことを考え会話を楽しませようとするが、おつちよこちよいな性格だ。）

・一文で「周也」の人物像をまとめましょう。

（例 積極的だがおつちよこちよいな所もある人物。）

解答 帰り道 ③

六年 組 名前

○この後、二人の関係はどのように変化すると思うか。考えたことをクラスの友達に伝えるように書きましょう。

周也は律が言いたいことを今まで以上に理解しようと思います。律は言いたいことが言えたことをきっかけに、今までよりも思いを言葉にして表現することができるといでしょう。このように、帰り道での天気雨をきっかけに、今後二人はさらに仲良くなるだろうと思いました。

○物語全体を読み深めることで、どのようなことを感じたり、考えたりしただろう。学習した感想を書いてみよう。

例 私は周也の気持ちによりそいながら、物語を読みました。なぜなら私も友達のことをおこらせた経験があるからです。そのときの私は友達に素直にあやまることができませんでした。周也も律のことを気にしてはいたものの、素直にあやまれないように感じました。突然の雨がきっかけとなり、二人が以前よりも成長できたと思います。私はこの物語から人の気持ちを考えて行動することと伝えたいことはしっかり相手に伝えることが大切であると学ぶことができました。

例のように、自分と登場人物を比べたり、登場人物の気持ちによりそったりして感想が書けるといいですね。最後に自分がこの物語から感じたことを書いてみましょう。

⇒

右の例文が解答例です。